

平成25年度第5回小牧市男女共同参画審議会議事要旨

1 日 時：平成26年3月13日（木）

午後2時～

2 場 所：小牧市まなび創造館 多目的室1

3 出席者

〔出席者〕 委 員：代田義勝、松田照美、宮崎康弘、林義人、大野順子
牧とよ子、林千代子、岩下道子、市川紀六

事務局：舟橋教育部次長、羽飼館長 他

〔欠席者〕

松井幸子

〔傍聴者〕

0名

4 議 題

(1) 市民意向調査について

5 審議会概要

開会・あいさつ

〔事務局〕

本日はお忙しい中、またお足元の悪い中まなび創造館へお集まりくださりまして誠にありがとうございます。

ただ今より、平成25年度第5回小牧市男女共同参画審議会を開催いたします。

本日、松井委員が欠席となります。傍聴の申し出はありません。本日の会議は公開とし、文書公開コーナーにて公開させていただきます。では、はじめに代田会長にご挨拶をお願いいたします。

〔会 長〕

こんにちは。年度末のお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。

本日は、市民意向調査について、前回の審議会でのご意見を基にした調査票の形ができてきました。今回は、この事務局の案をさらにブラッシュアップし、完成形に近い形へ持っていくことができればと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

〔事務局〕

ありがとうございました。

ただ今会長よりお話がありましたとおり、1月16日開催の前回審議会において、一般市民、事業所、**小学生**、中学生向けの4つの意向調査の内容を協議していただきました。

今回は委員の皆様のご意見を取り入れ、項目等を改正しております。改めて皆様にご協議いただければと思います。

それでは、議題へ移ります。男女共同参画審議会規則第2条の規定により、代田会長に取り回しをお願いいたします。

〔会 長〕

はい。それでは確認させていただきます。お手元に一般市民向け、事業所向け、中学生向け、小学生向けの4つの意向調査案があるかと思います。まずは一般市民向けから協議していただきたいと思います。

大きく1から12までの項目に分かれ、設問は42あります。順番に見ていきたいと思っています。何かご意見はありますでしょうか。

〔委 員〕

昨晚、一般市民向けを自分で回答してみたところ、私はある程度アンケート内容を知っていて回答していますが、それでも15分かかりました。一般の方が回答をされるのであれば、20分、30分かかると予想できます。事務局側としては、大体どの程度の所要時間で回答することを想定していますか。

〔事務局〕

現在の案は確かに設問数が多いため、これより更に数を減らす予定です。

〔会 長〕

何を削るかというのは大変難しいですね。実は私は、皆さんのところにこの案が届く前に、一度原案を確認しています。そこで設問を数問削ったのですが、どの部分を削るのかを考える作業が、非常に難しいものでした。

〔委 員〕

言葉1つをとっても、それがどういったことを指すのかを考えて時間を取られるということがありました。あまり専門的な知識のない方も回答することを考えると、難しいですね。

〔会 長〕

では、難しいですが、設問を削除するという選択肢も含めてご意見をいただきたいと思っています。順番に見ていきたいと思っています。

まず「1 あなた自身のことについて」はいかがでしょうか。

私が気になったのは、問5「小牧市に住んで何年になりますか」の質問、2から4の選択肢です。「5年～10年」の形ではなく、「5年以上10年未満」という形にした方が分かりやすいと思います。

次に問6の選択肢8、自由業です。前回も話題になっていましたが、やはり自由業という中に医師や弁護士が含まれていることが気になります。医師を含めるのであれば、開業医、と限定したほうが良いと思います。

〔委 員〕

同じく問6についてです。職業を問うのであれば、「パート」という職業はないはずです。例えば外食産業である等の勤務先があり、身分がパートであるということになると思いますが。現在の質問では、職業と身分を混同している状態になっているのではないのでしょうか。

身分を知りたいのか、職業の種類を知りたいのかをはっきりとさせた方が良いと思います。

〔会 長〕

雇用形態を聞いているのでしょうか。

〔委 員〕

パートタイマーで正規社員の方もいれば、パートタイマーでも非正規の方もいます。

〔委 員〕

聞き方に工夫が必要ですね。

〔委 員〕

ここで仕事の種類と働き方の両方を聞くのには無理があるように思うので、どちらを聞くのかははっきり決めた方が良いでしょう。

〔会 長〕

ここで職種を聞いてもあまり意味がないように思えますので、働き方の種類を聞いていく方が良いでしょうね。

では次に、「2 男女平等意識について」に移ります。こちらについてご意見はありますか。

〔委 員〕

問9の質問についてです。この意識調査の目的を考えた場合、質問自体は面白いですが、必要性が薄いのではないかと感じます。

〔会 長〕

ではこの質問は削除しましょうか。

問7については、今までの調査でも同じ質問内容でしたので、このままで良いと思いますが、いかがですか。

次は「3 家庭生活・家事分担について」です。ご意見をお願いします。

〔委 員〕

問10及び問11の選択肢コ「役所等への用事・書類の作成」は必要ないと思います。書類の作成にも様々なものがありますし、役所への用事も色々なものがあります。ですので、一概に回答することが難しいと思います。

[会 長]

そうですね、コは必要ないかもしれません。

[委 員]

同じく問10の選択肢キ「生活費を稼ぐ」は、年金生活者はどうなるのでしょうか。年金は「稼ぐ」という表現に当てはまるのでしょうか。

[委 員]

年金はこれまで働いたことに対して支給されるものですから、**それほど**問題はないのではと思います。

[委 員]

質問文にも、「どなたが担っていますか。(担っていましたか。)」とありますので、過去の点も踏まえて回答があるのではないのでしょうか。

[会 長]

次に4「育児と子どもの教育について」で何かご意見はありますか。

[委 員]

問14「あなたは子どもに、将来どのような生き方をしてほしいと思いますか」ですが、「自分の目標に挑戦する」といった選択肢が欲しいと思います。

[委 員]

それは「その他」で記入してもらうのはいけませんか。

[委 員]

私の場合だと、自分の子どもに対しては、ここに書いてある全ての選択肢に○をつけたいと思ってしまいます。この設問は聞き方があいまいだと感じるので、もっと具体的に、例えば「仕事を一生懸命頑張してほしい」や「早く結婚して幸せな家庭を築いてほしい」といった選択肢としたらどうですか。

[委 員]

若い世代の方だと、ここにある項目の他に、「子どもの自主性を尊重したい」といった希望が多いのではないかと推測します。

[委 員]

確かにそのとおりです。

[委 員]

そうであれば、「子どもの自主性を尊重する」という選択肢を追加したらどうでしょうか。

〔委員〕

前回の意向調査で、問14と同じ質問はありますか。

〔事務局〕

はい。少々文面を変更してありますが、ほぼ同じ内容の質問がありました。

〔委員〕

それであれば、ここは10年前から意識がどう変化したかを見るために、あえて全く同じ質問をするというのも手だと思います。

前回と比べて少し文章を変更したということであれば、文章から全く同じにする方が良いと思いますね。

〔事務局〕

前回、○はそれぞれ1つずつでしたが、今回は2つとしました。これも前回と合わせて1つずつとすべきでしょうか。

〔会長〕

その方が良いでしょうね。

では5「仕事について」に移ります。問15から21までで何かご意見はありますか。

〔委員〕

問16の選択肢に、「女性の意思を尊重する」というものがありません。私の場合、妻の意思に沿った結果、現在妻は専業主婦です。そのような選択肢があっても良いのではないですか。

〔委員〕

それならば、問16の選択肢に、「その他」がありません。問17にはありますので、問16にも追加して、他の意見への対応としたらどうですか。

〔委員〕

問19は、かなり厳しい質問ですね。一般社会というのはいわば建前で、建前と本音といった雰囲気です。

〔会長〕

問20は、問19で1つでも選択肢3か4を選んだ方に対する質問ですか。

〔事務局〕

はい。

〔会長〕

そうであれば、質問の前置き部分に、「1つでも」と追加した方が良くもかもしれません。

〔事務局〕

追加します。

〔委員〕

問21の選択肢8と10は、ほとんど同じ意味であるように思えます。統一したらどうでしょうか。

〔委員〕

問21の選択肢を見てみると、1から7までは個人的な生活の観点ですが、8になると職場での育児・介護休暇という話になっています。少し視点が入り混じっているように思います。

〔会長〕

確かにそのとおりですね。どちらかを削除しましょう。

それでは次に6「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について」です。

〔委員〕

問24については、私が回答を作ってみた際、大変時間がかかった部分です。男女共同参画に少し携わる人間ですら時間がかかるのですから、一般の方にとっては大変な質問ではないかと思えます。

〔会長〕

問24ですね、ではこれをどうするか考えましょう。いっそのこと問24自体を削除してしまいませんか。

これを削除することは難しいですか。

〔事務局〕

いえ、確かに回答者の方に負担が大きいかもしれませんが、非常に重要な質問とまではならないので削除しても問題はないと考えます。

〔会長〕

この部分がなくなれば、少し負担も減るでしょう。

〔委員〕

問22、問23についてです。質問自体は良いのですが、選択肢を読むことが大変です。例えば、マトリックス図にし、「理想」「現実」それぞれで○をつけてもらうなど分かりやすくすることはできませんか。

〔会長〕

この2つの質問を1つに纏めるということですか。

〔委員〕

そのとおりです。

〔事務局〕

実はこの質問は、愛知県の意向調査と同じ内容の質問となっています。愛知県との差を見るために、あえて同じ内容で選択肢も作成してあります。

〔会長〕

そうですか。では、少し読みにくいかもしれませんが、このままでいしましょうか。

では7「介護について」です。何かご意見はありますか。

特にないようでしたら、次の8「地域活動・社会活動について」は何かありますか。

これも特にありませんね。では次9「人権について」です。ご意見があればお願いします。

〔事務局〕

一点訂正をお願いいたします。

問33の選択肢9では、「女性の」という一文がありますが、こちらは「男性の」の誤りでした。大変申し訳ありません。

〔会長〕

他にはないようでしたら、次に10「生涯にわたる健康づくりへの支援について」です。

〔委員〕

選択肢2と選択肢3ですが、2の中に3が入ってこないでしょうか。あえて別としておく必要性は薄いように思います。

〔会長〕

そうですね、では選択肢3は削除することにしましょう。

では次に11「ドメスティック・バイオレンスについて」です。ご意見がありましたらお願いします。

ないようですね。では、最後12「男女共同参画社会について」はいかがですか。

〔委員〕

問42についてです。行政側として、何に力を入れていくべきかを聞きたいという気持ちはよくわかりますが、もう少し違った視点からの質問でないと、一般の方はピンとこないのではないかと思います。

例えば4「審議会委員や管理職など、政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する」ですが、市民の方からすれば、こういった点が自分の生活にどう結びつくのか想像が難しいのではないですか。

〔委員〕

この問42では、選択肢の文章をもっと平易なものにすることが必要ではないでしょうか。

〔委員〕

市民の方が答えやすいような質問にしたいですね。

〔会長〕

選択肢の内容はこのままで構いませんので、表現をもう少し柔らかくした方が良いでしょう。

あと、選択を「当てはまるもの全てに○」ではなく、例えば「○は2つまで」とすることも必要だと感じます。当てはまるもの全てとなると、漠然と考えてあれもこれも○をつけるようなことになる可能性もありますが、2つまでと限定すれば、より内容を比較して答えていただけるように考えます。

〔委員〕

戻りますが、問40の選択肢クのワーク・ライフ・バランスは、数ページ前で説明していますし、削除したらどうでしょうか。

〔委員〕

確かにしっかり説明されていますし、必要ないかもしれませんね。

〔会長〕

はい、大変多くなりましたが一般市民向けは以上ですね。次に事業所向けに移りたいと思います。

何かご意見はありますか。

〔委員〕

問3のように回答が難しいと思える質問も、「詳細な人数が不明の場合は、不明とご記入ください」の一文があることで、かなり事業所の負担は軽減されると思います。

〔会長〕

5「各種ハラスメントの防止について」の問23と問26は、それぞれ別の質問で聞くよりも、むしろ質問を統合し、マトリックスでセクハラ・パワハラがある・ないとした方が良いのではないかと考えます。

〔委員〕

6「男女共同参画社会について」の最初の部分「回答を記入されている人事担当者の方自身の知識についてお聞きします」とありますが、ここの表現を少し変えてほしいと思います。「人事担当者の方にお聞きします」というようにしてみたらどうですか。

[委 員]

確かにテストのような文面になっています。

[委 員]

これは、担当の方はすぐに検索して調べてから答えると思います。

[委 員]

それでは、やはり「人事担当者の方に」の方が良いですね。

[委 員]

問29の自由記述欄ですが、自由記述とせず、「貴事業所が男女共同参画を進める上で必要であると考えをお書きください」というような、課題認識と今後の取り組みについてを必ず記入してもらおう質問にすることはできませんか。

[委 員]

することはできると思いますが、回答があるかどうか疑問です。

[会 長]

企業の取り組みについては、この調査票の中で色々と聞いています。これ以上あえて聞く必要があるのか難しいところですね。

[会 長]

では、小学生、中学生向けへ移りたいと思います。それぞれについてご意見をいただければと思います。

[委 員]

細かい話となりますが、小学生向けの調査の内容で漢字で「言葉」となっている部分は全て「ことば」とひらがなにしてもらいたいと思います。

[委 員]

中学生向けの問8、家の中の手伝いについての質問ですが、エ「自分の部屋の掃除」については、中学生ともなれば自室の掃除は手伝いではないと思います。削除したらどうでしょうか。

[委 員]

また問8についてですが、コ「親の仕事の手伝い」は、どういった場合を想定しているのですか。

[委 員]

自営業などではないでしょうか。

〔委員〕

自営業でない家の子どもにとってはピンとこない話ですね。

〔会長〕

親の仕事の手伝いは、男女共同参画に直接関係はしないと思いますので、「親の仕事の手伝い」についても削除しましょう。

〔委員〕

また同じく問8のク「弟・妹の世話」は、弟や妹がいない子はどう答えたら良いのでしょうか。

〔委員〕

なかなか難しいですが、この問だけ回答4「弟・妹がいない」を作成することが良いと思います。

〔委員〕

問3のア「出席を取る時など、男子が先、女子が後にされている」の意味が分かりにくく思います。

私たちは意味を理解することができますが、これを回答しようとする小学生あるいは中学生の子たちが意味を理解して回答してくれるのかどうか。難しいのではないですか。

〔委員〕

質問自体は面白いものですが、質問と回答の選択肢がいまいちしっくりきていないかもしれません。

〔委員〕

私はイが気になりました。これは何を考えての質問でしょうか。これを質問して見えてくるものとは何でしょう。

〔委員〕

今の小牧市ではどうなっているのでしょうかね。男の子は「くん」、女の子は「さん」をつけて呼ばれているのかどうか。

〔委員〕

生徒同士での呼び方なのか、先生からの呼びかけられ方なのか、この質問だとよくわかりません。

〔会長〕

そうしますと、問3のア、イは削りましょうか。

[委 員]

それが良いと思います。

[会 長]

中学生の5「性別について」は、問17と18は確かに性別についてですが、問19は平等について聞いています。「性別・男女の平等意識について」としてほしいと思います。

[委 員]

中学生問19の選択肢ウ、エ、オは、中学生が回答することができるのでしょうか。特にウ「仕事で」は、中学生の年代で仕事のことはまだあまり知らない部分が多いのではないかと思います。

[会 長]

確かによくわからないかもしれません。

[委 員]

もし回答があつたとしても、親から聞いた意見や考えをそのまま記入したという形になってしまいそうです。

[委 員]

それならば、ウからオをまとめて「社会全体で」としてはどうでしょうか。

[会 長]

そうしましょうか。

[委 員]

小学生の問17の質問に少し疑問です。

[委 員]

言葉を知っているかどうかを訊ねるよりも、クイズのように間違つた文章あるいは正しい文章を書いておいて、この文章の内容は合っているかどうか○か×で回答してもらうのはどうですか。

[委 員]

一番最後はそれでも面白いかもしれませんね。

[会 長]

良いアイデアだとは感じますが、意向調査をテストのようにしてしまうことは、少しためらいます。小学生に意味がわからないかもしれない「ドメスティック・バイオレンス」とウ「セクシュアル・ハラスメント」は削除するというのはどうでしょうか。

[委 員]

セクハラは小学生の子どもでも、何となく言葉だけは知っていると思います。

[委 員]

ではドメスティック・バイオレンスだけ削除しましょうか。

[会 長]

そのようにしましょう。皆様ご意見ありがとうございました。

[事務局]

皆様ありがとうございました。

それでは、これをもちまして平成25年度第5回小牧市男女共同参画審議会を終了いたします。

本日は誠にありがとうございました。